

現状・課題

計画的な施策の展開

政策目標

国際競技大会等の招致・開催は、各競技団体等が主体となって進められている。

国際競技大会を招致・開催するために必要な、関係省庁や地方公共団体、スポーツ界等の連携が必ずしも十分とはいえない状況も見られる。

日常における情報の収集・発信や、国際的なスポーツ界への参画が不十分。

スポーツ科学・医学・情報分野における国際的な交流は十分とはいえず、我が国は国際スポーツ界においてイニシアティブをまだ十分には発揮できていない。

(1) オリンピック・パラリンピック等の国際競技大会等の招致・開催等

【施策目標】

・国や地方公共団体、スポーツ団体等関係機関が連携し、国際競技大会等の積極的な招致及び円滑な開催を支援する。

【主な施策の方向性】

・我が国での開催が予定されている国際競技大会について円滑な実施を支援。
 ・国際競技大会等の招致・準備運営に関する支援、助言、情報交換・共有の仕組みについて検討。

…etc

(2) スポーツに係る国際的な交流及び貢献の推進

【施策目標】

・国際スポーツ界において活躍できる人材を養成し、情報を収集・発信する体制を整備するとともに、国際的な人的ネットワークを構築し、我が国の貢献度や存在感を高める。

【主な施策の方向性】

・国際機関や国際競技連盟等に対する、指導者、審判員及び専門スタッフ等の国際的な人材派遣・交流による国際的な好循環の創出と、国際的なスポーツ・コミュニティと安定した関係を築くことができる人的ネットワークの構築。
 ・WADAの常任理事国として、WADAの理事会・事務局・地域事務所の各レベルで連携を維持・強化。
 ・JISSと海外の研究機関との連携等、スポーツ科学・医学・情報分野における国際ネットワークを構築。

…etc

オリンピック・パラリンピック等の国際競技大会等の積極的な招致や円滑な開催、国際的な情報の収集・発信、国際的な人的ネットワークの構築等を通じて我が国の国際的な貢献度や存在感を高める。